

海外安全対策情報（平成30年4～6月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は総じて安定しているが、強制わいせつ罪のみ微増している。また、薬物犯罪に関しては、コカインの所持や売買による検挙者が、前年比+38%と大幅に増加している。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Baulkham Hills and Hawksbury：強姦（+28.2%）

Blacktown：詐欺（+20.5%）

City and Inner South：強制わいせつ（+37.9%）

Ryde：窃盗（ひったくり、すり等人を対象）（+73.8%）

○ Coffs Harbour - Grafton：窃盗（自動車盗）（+24.7%）

○ Illawarra：強盗（銃器以外の凶器使用）（+62.1%）

○ Mid North Coast：強盗（凶器を使用せず）（+140.0%）

○ Riverina：強制わいせつ（+29.0%）

○ Southern Highlands and Shoalhaven：窃盗（店舗を対象）（+64.7%）

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定している。暴行・脅迫、性犯罪等人に対する犯罪は増加（+9.5%）しているが、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は減少（-1.7%）している。

特に飲酒がらみの暴行事件が増加している。（+18.9%）

2 邦人被害

強盗被害が多く報告されている。特に、深夜1人で路上を歩いているところを襲われ、金品を奪われる事件が多発している。深夜帯に帰宅する際は近距離でもタクシーの使用を心掛けること。

3 テロ・爆弾事件発生状況

8月、シドニー市内のNSW大学で働く25歳のスリランカ人男性がテロ関連罪で逮捕された。現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、オーストラリア国内におけるテロの脅威度は依然5段階中上から3番目の「Probable」であり、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

捕鯨・イルカ漁反対団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2017年7月から2018年6月までの1年間と前年同期との増減率）。